

2026 年 7 月 29 日

東北大学大学院 医学系研究科

医学統計学分野

『Shared Decision Making と Patient Preference』

川口 崇

東京薬科大学 臨床評価学教室 教授

東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野 非常勤講師

本発表では Shared Decision Making (SDM、意思決定の共有) と Patient Preference Studies (PPS、患者選好研究) について、自らが取り組んできた研究の歩みを紹介した。Decisional Conflict Scale 日本語版を開発・検証し、薬剤師のカウンセリングががん患者の治療前の葛藤を低減することを示し、また、Control Preferences Scale と Information Needs Questionnaire (Thurstone の一対比較法) を用い、患者が望む関与の役割と情報ニーズを検討した事例を紹介した。翻訳許諾、ePRO 化、逐語データの扱い、患者の心理的負担といった実務的困難にも直面した問題を提示し、さらに Discrete Choice Experiments (DCE、離散選択実験) で乳がん患者から薬剤師の説明に対する選好を定量化した事例も共有した。また、現在取り組んでいるがん患者のインフルエンザワクチン接種の意思決定研究の紹介をした。ISPOR の患者選好ロードマップを踏まえ、「Patient Preference=DCE」ではなく、良い問いに Fit for Purpose な手法を選び、社会実装まで見据えることが重要であるとした。